

道の駅 若狭美浜はまびより

福井県三方郡美浜町

設計・監理／三橋・山口設計共同企業体+澤秀俊設計環境
施工／技建工業



美浜駅ロータリーに面した大屋根広場 重なり合うおおらかな屋根が訪れる人々を迎え入れる

設計主旨

北陸新幹線が開業する敦賀、観光名所である三方五湖をつなぐ東西軸上の主要施設として本道の駅は整備された。広場を分散させ、様々な目的・機能に応じた屋根を大らかに重ね合わせることで、人々が立ち寄りやすく、開かれた屋根下空間を創出した。建物中央を貫く[大屋根広場]、1階外周部の[えんがわテラス]、屋上の[ルーフトップテラス]など、要求された屋根付の公共空間に対し、用途や使われ方によって大小様々なスケールの半屋外空間を計画した。それに対応するように屋根を分割することで、隙間から光や風を取り込み、人々の心地良い居場所となる。

一 空間構成

全体の構成としては、農産物直売所、カフェ、barや子育て支援施設・託児所等、テナントの使いやすさ、居心地に配慮し、ヒューマンスケールに基づく4mグリッドの鉄骨造により構成した。それにより、構造的にも無理のない架構形式を実現し、施工性・コストメリットにも配慮した。

一 各機能

1. 大屋根広場

施設中心を東西に貫くかたちで間口8mの「大屋根広場」を設け、地域の産業祭を行うことが可能なスペースを確保した。大屋根広場を介して各諸室へアプローチできるように計画することで、施設の空間全体が把握しやすく、明快でわかりやすい空間構成とした。駅ロータリーに面した海の広場と一体的利用ができ、ランドスケープと建築が連続するように設計することで、内外それぞれの広場の魅力をさらに高めた。2層吹抜の大空間の中で、渡り廊下や広場へと、立体的に視線や風が抜け、お互いの活動が見えることで交流や賑わいが生まれる。

2. えんがわテラス

1階外周部に柱間4mの軒下空間「えんがわテラス」を設け、誰もが自由にくつろげる環境を整備した。通路としての機能だけでなく、直売所の物販スペースやカフェテラス、イベント時の客席等、多目的に機能する空間を実現した。大きく張り出した軒には杉羽目板を採用し、居心地の良い縁側テラス空間を実現した。

3. 半屋外テラス・ルーフトップテラス

2階の多目的テラス、レストランテラス、屋上のルーフトップテラスは各用途、使われ方に応じて分散配置することで、各活動に対応した多様な半屋外空間とした。周辺環境にも配慮し、多目的テラスは美浜町の街並みを眺望でき、レストランテラスは周辺の山並み、ルーフトップテラスは若狭湾を一望することが可能な配置とした。

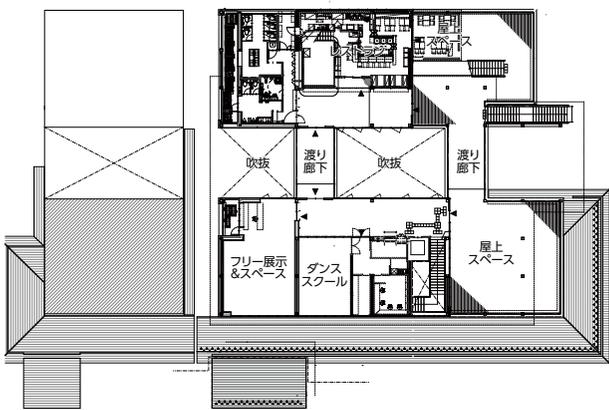
一 ランドスケープデザイン

美浜駅ロータリーと役場をつなぐ南北軸に沿って、若狭湾の波のイメージを表した舗装デザイン、浮島を点在させた「海の広場」、健康を促進する「芝生広場」を設け、多彩な植栽で囲むことで、地域の特色を感じながら人々が集い・憩える場づくり、アプローチ空間の演出を行った。外構の舗装は、若狭湾の波のイメージをインターロッキング模様貼りにて表現し、外壁は若狭湾の碧色として金属サイディングの波板を採用することで、波模様が外構から外壁へ立ち上り、人々が自然に建物へ誘導されることを意図した。

(三橋設計、澤秀俊設計環境、オオツランドスケープ)



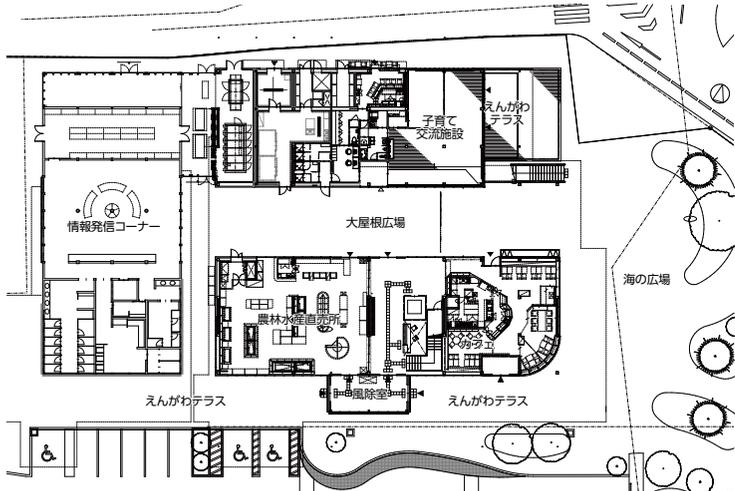
左／おおらかに重なり合う屋根は周囲の風景を切り取り、訪れる人々は自然に地域の特色を体現できる 右上／若狭湾・周辺町並み、田園風景との調和に配慮した 右下／屋根は周辺山並みとも重なり合う形態とした



2階平面図



断面図 縮尺1/400



1階平面図 縮尺1/800



屋根の重なりを上から見る



健康を促進する「芝生広場」、若狭湾の波・浮島をイメージした「海の広場」、重なり合う「大屋根広場」を連続させ、様々な場所で人々がゆっくりと時間を過ごす



4mの大きく張り出した縁側庇が駐車場からの来訪者をやさしく迎え入れる



海の広場・大屋根広場に面するカフェは全開放できるサッシにより内外が一体的につながる



交流スペースは2層吹抜のメイン階段から自然光・視線が抜け、上下のつながりを意識させる



各テラス、諸室とつながる建物中央の大屋根広場では地域の産業祭が開催される

施工計画

福井県三方郡美浜町郷市、美浜駅、駅前ロータリーに面した好立地に、道の駅(物産、直売、レストラン、カフェ、交流、子育て、イベントスペース)を施工した。

駅前のため通勤・通学などの通行人やバスなどの通行車両が多く、また着工当初は、敷地西側や南側の国土交通省施工エリアの他業者施工、美浜町の別途開発行為施工が進んでいたため、周辺環境への配慮や、複数業者との迅速な作業間調整が求められた。美浜駅側(敷地北側)に1階子育て、2階レストラン、3階屋上テラスがあり、敷地南側には1階物産・直売、カフェ、2階イベントスペース

と2階テラスがあり、2つの棟は高さ10mの大屋根空間を跨ぐ形で配置されている。4つの大屋根は、天然の杉羽目板の軒天上で施工している。素材が天然木であるうえ全ての屋根が互い違いに重なる形状となっているため、各層の施工順序や、木目がきれいに通るよう鉄骨や天井下地の精度を吟味し、設計監理者、業者との調整、製作図の入念な管理を徹底し、精度の高い施工を実現させた。

外壁や屋根施工時期が、冬季の降雪時期と重なり除雪作業が必要となったが、迅速な各作業員との調整、協力を仰ぐことで工期の遅延を防ぐことができた。工事終盤では、内装

工事において無機質な素材の取り合い、納まりに関する入念な施工確認や舗装パターン、植栽配植位置の確認、照明配光の確認を施主、設計監理者、各業者と密に打合せを重ねることで、建物全体において統一された納まりとなり、当初の施主・設計監理者が思い描く「屋根が伸びやかに浮かび上がる建築」を実現できた。(上野 僚/技建工業)



上野 僚……うへの りょう
1986年福井県生まれ。2009年福井工業大学建設工学科卒業、同年技建工業入社。現在、同社積算室主任



鉄骨建方工事



屋根施工工事



外構工事

写真提供/技建工業



小田嶋 亮……おだじま あきら
1981年東京都生まれ。2005年千葉工業大学卒業、同年高松建設設計部入社。2013年三橋設計入社。現在、同社設計部次長



澤 秀俊……さわ ひでとし
1983年岐阜県生まれ。2009年東京工業大学大学院修士課程修了。2014年～NPO法人活エネルギーアカデミー事務局。Vo Trong Nghia Architects ホーチミン事務所パートナーを経て、2018年澤秀俊設計環境/SAWADEE設立



木下 洋介……きのした ようすけ
1978年神奈川県生まれ。2003年東京工業大学大学院環境理工学創造専攻修了、同年金箱構造設計事務所入社。2011年木下洋介構造計画設立。芝浦工業大学、東北芸術工科大学非常勤講師



大津 正己……おおつ まさみ
1971年福岡県生まれ。1995年千葉大学園芸学部緑地環境学科卒業、ランドスケープの設計事務所を経て、2018年オオツランドスケープデザイン事務所設立

道の駅 若狭美浜はまびより データ

所在地 福井県三方郡美浜町松原35-15-1

主要用途 道の駅

建築主 美浜暮らしブランド株式会社

設計・監理 三橋・山口設計共同企業体

三橋設計 担当/小田嶋亮、王 怡

山口設計事務所 担当/小畑陽一、向井英昭

意匠デザイン監修 澤秀俊設計環境

担当/澤 秀俊

ランドスケープデザイン

オオツランドスケープデザイン事務所

担当/大津正己

構造設計・監理 木下洋介構造計画

担当/木下洋介

設備設計 環境エンジニアリング

担当/仲西隆幸、成田賛久

施工 技建工業

担当/上野 僚、小西泰市、太田 誠

設計期間 2020年4月～2022年5月

工事期間 2022年6月～2023年6月

【建築概要】

敷地面積 開発区域7,035.96㎡
(確認申請上敷地4,230.40㎡)

建築面積 1,421.85㎡

延床面積 1,840.87㎡

建べい率 33.62% (許容60%)

容積率 43.24% (許容200%)

構造規模 S造 地上2階

最高高さ 11.3m

軒高 11.0m

階高 3.80m

天井高さ 3.4m

主なスパン 4m×4m

道路幅員 10m

駐車台数 75台

地域地区 商業地域、準工業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式/高圧受電方式 変圧器容量/6,600V
予備電源/自家発電31.5kVA

空調設備 空調方式/ビル用マルチパッケージ方式

衛生設備 給水/直結給水 給湯/ガス給湯方式 排水/合流方式、雨水分流方式

防災設備 消火/消火器・補助散水栓 排煙/自然排煙

その他/自動火災報知設備、非常放送設備

昇降機 乗用1基

特殊設備 太陽光発電パネル

【主な外部仕上げ】

屋根 ガルバリウム鋼板横一文字葺

外壁 金属サイディング

建具 アルミサッシ

外構 インターロッキング模様貼舗装

【主な内部仕上げ】

床/モルタル刷毛引き 壁/木毛セメント板 天井/現し(木格子欄間)

撮影/楠瀬友将

協力会社

換気排煙装置	オイレスECO
鉄骨工事	垣見鉄工
建具製造(イスターカーテン)	TOKO
金属製建具工事	北陸東工シャッター
金属製建具工事	三和シャッター工業
金属サイディング	ニチハ
防水工事	松村建工
塗装工事	ケンソウ
硝子工事	小森商事
サイン工事	マルキヤ宣伝社